

健康づくり推進協議会 会議概要

1	審議会名	健康づくり推進協議会
2	日時	平成25年1月15日(火) 午後1時15分から午後3時00分まで
3	会場	ひとまちげんき・健康プラザうえだ 2階 第一会議室
4	出席者	甲田会長、児玉副会長、小林委員、澤路委員、下村委員、土屋委員、戸島委員、馬場委員、宮坂委員、師岡委員、山野井委員
5	市側出席者	清水健康福祉部長、櫻田健康推進課長、高野丸子健康福祉課長、宮崎保健予防係長、橋吉ひと・まちげんき担当係長、遠藤ひと・まちげんき担当係長、小宮山保健推進係長、宮沢丸子健康推進係長、宮山真田健康推進係長、尾美健康推進係長、白鳥主査、長田主査
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成25年1月22日

協議事項等

1 開会

2 あいさつ (健康福祉部長)

3 協議

第二次上田市民総合健康づくり計画(案)について

ア 6分野の現状と課題、施策の展開について

(ア) こころ 分野 **資料1**を説明 (こころ分野長)

質疑応答

(委員)ゲートキーパー研修の参加対象者はどのような人か。

(分野長)民生委員、健康推進委員、老人会といった何らかの役職についている人や意識の高い人を対象としている。

(委員)一般の人、母親等も対象にすると、一番身近な子供といった生活弱者にも生かすことができる。検討して欲しい。

(分野長)今後、学校にも保護者会の役員等を対象としたゲートキーパー研修を取り入れていく等検討していく。

(委員)自殺死亡者の減少とあるが、数字で0%に持っていくというのが願望であり、5年後に目標値34人というのはあり得ないと思う。目標は0であるということ。その努力をしないと、自殺者はほとんど減っていかないのではないか。

(会長)0もまた難しい。減少という表現もある。

(委員)0目標であるということは、今会長が言うように減少という言葉の方が良いのではないか。

(分野長)国は20%以上減少させるとし、死亡率で言っている。市としては0%としたい希望はあるが、国は20%以上の減少としているので、市も具体的な数字ではなく10%以上の減少というように目標値の書き換えを検討していきたい。

(副会長)ゲートキーパー活動もわかるが、目の届かない人への対応が必要。そこへのフォローが難しい。0にはできないのではないか。

(分野長)解決策は今明確に答えられないが、周りの人達に勉強してもらい絆づくりも解決には必要だと考えている。

(副会長)もちろんそうだと思う。

(会長)非常に難しい。今市と医師会で自殺対策の会議をしている。目標は減少。10%以上の減少で良いのではないか。

(イ) 歯 分野 **資料2**を説明 (歯分野長)

質疑応答

(委員)達成目標の項目は問題ない。問題となってくるのはハイリスクの子。健診フォローが重要になる。現代ではほとんどの人が歯周病にかかっていると言われていて。早期発見するには歯周疾患検診。現在受診率が低いのが問題。

(委員)自分が子供の頃は、内科と歯科の医師が年1回学校にきて健診をしたが、今はそういう事はないのか。

(分野長)現在も学校で定期的実施している。

(委員)今、健診事業は乳幼児から高校まで定期歯科健診を行っている。それ以降の年代は上田市で歯周疾患検診を行っており、対象者に補助金を出し歯科医を受診して健診を受ける。骨粗しょう症予防健診時には歯科相談がある。

(委員)歯周疾患検診で補助金制度があることを知らなかった。PR不足。もう少しPRするにはどうできるかということ。

(分野長)歯周疾患検診対象者全員に通知をしている。10月頃未受診者に再通知しているが、啓蒙啓発の工夫をしたい。

(ウ) 親と子 分野 資料3を説明 (親と子分野長) * 資料P1、2を差し替える

質疑応答

(委員)あいさつができない子がたくさんいる。あいさつは必要。どこかの項目に入れて欲しい。

(分野長)「3 育児を取り巻く現状」に入るのではないかと。関係課や学校等関係機関と連携して検討していきたい。

(委員)達成目標指標に「安心して育児できるための情報や支援を知っている人の増加」とあるが、いくら情報や支援を知っていても安心して育児ができないといけない。「安心して育児が出来る人の増加」に変えられないか。乳幼児健診受診率が100%に達していないが、未受診の人には個別に訪問等で対応しているのか。

(分野長)達成目標指標については、表現を検討していきたい。乳幼児健診未受診者に対しては全員に連絡し、出てこない人には訪問等している。

(委員)姑が「昔はこうだった」と押し付けるので若い母親達が悩むと聞く。祖母への育児情報の提供は何かしているのか。

(分野長)今のところやっていないが、祖母への教育やPRについては考えていきたい。

(委員)嫁姑の問題ではないが、それが原因で心のストレスを抱える人もいる。何かアプローチを考えて欲しい。

(分野長)具体的などころでは、市の行動計画に取り入れたい。

イ ライフステージにおける現状一覧、健康づくりについて 修正資料 資料4を説明 (事務局)

ライフステージの項については、第1回会議で提示した計画構成(案)を修正資料のとおり一部修正し示すので、再度確認をお願いしたい。

(ア) ライフステージにおける現状一覧 資料4-1

(イ) ライフステージに応じた健康づくり、一覧表 資料4-2、3

質疑応答

(委員)HbA1cの値がこの頃変わった。数字を直して欲しい。

(会長)H25年4月から変わる。基準値5.2%から0.4%上がる。特定健診は今までと比較できないのでH24年度までは今の値で。

(委員)今度は国際基準になるはず。今変えると比較が上手いかわからない。

(委員)将来的なものなので変えたほうが良いかと思ったが、そうではないのか。

(委員)ライフステージのまとめ方はこれで良いと思う。育児を取り巻く虐待や育児放棄等が問題としてあがってくる。どこかであげられるものなら、あげてもらいたい。

(事務局)「上田市未来っ子輝きプラン」という健康づくり計画とは別の計画で議論中である。

(委員)短い期間ということもあるが、健康づくりにおいて思春期の目標達成指標がこれだけなのかという印象もある。

(事務局)計画を中心に進めていくのが市の保健担当部門になるので、実際に学校に通う思春期の子に対してできることが見つかりにくいこともある。今後の連携の中で具体的にしていきたいと考えているところなので、このようにした。

(委員)学校歯科保健の分野においては、中学校のあたりは歯肉炎の減少を目標としてはいるが、市の健康づくり計画の中に入れられるかどうかというところはなかなか難しいところ。進んでいないところもあるので、大きく市の健康づくり計画にのせてどれだけ進められるか。その数値もまだでいていないかと思うし、そういったところで今取り組みとしてはやっているところである。

(委員)ところで、今認知症が非常に増えている。どこかに課題や支援の方法を入れることはできないか。

(事務局)大きな課題なので、高齢者介護課で取り組んでいく。

ウ その他 なし

4 その他 次回は2月12日(火)午後1時30分からひとまちげんき・健康プラザうえだ2階 第1会議室で開催。

5 閉会 謝辞(健康福祉部長)